

ちあばい♪ 棒針2本編み



©チアウーマン×手作りおっぱい部

2017.6.27

材料 手芸店以外に、100円ショップで買いそろえることも可能です。

コットン糸

合太 または棒針で4〜6号向け。柔らかい毛糸。ちあばい♪は肌着で隠れることが多いですが薄手の服の時は目立たない色がおすすめ。

棒針

輪編みのできる両端がとがった4・5・6号のいずれか2本。片側に玉が付くものもOK



とじ針

穴に毛糸が通るもの。毛糸用の糸通しがあると便利。

段数リング 4個

目印に使います。途中でリングが来たら移動。毛糸で輪を作ってもOK。

中綿 (化繊・ポリエステル)

重みが欲しい方は下記が使えます。

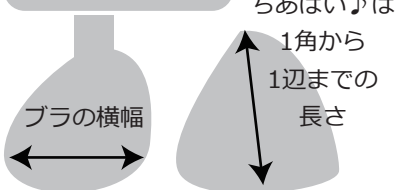
- ・ケーキの保冷材(スリットは広めにつける)
- ・おはじき(音がするので綿に埋め込むと静か)
- ・ぬいぐるみ用のペレット

定規かメジャー、ハサミも使います。

洗濯

手洗い・洗濯機ともに使えます。

サイズの測り方



サイズの目安

	カップ付 キャミ	前開き ブラ	ワイヤーブラ(大きい方はカップの横幅を参考)
ちあばい♪			
AA(11cm)	M	S	A65,A70,A75,B65,B70,B75,C65,C70,D65,D70
A(12.5cm)	L	M	A80, B80, C75,C80,D75, E70,E75
B(13.75cm)	XL	L	A85, B85, C85, D80, E80
C(15cm)		LL	D85, E85
D(16.25cm)			

・スポーツブラはカップ付きキャミソール参考の普段サイズが若干小さめ。

編む順番

肌側から編みはじめ、糸を切らずにそのまま山側を編みます。

- ①作り目し、②増やし目で肌面を編む。
- ③裏表を逆に編む。(スリットを付ける)
- ④減らし目をして山側を作る。
- ⑤すくいとじでくっつける。

両端をくっつける⑤

④山側を編む

③2段逆に編む

①②肌側を編む

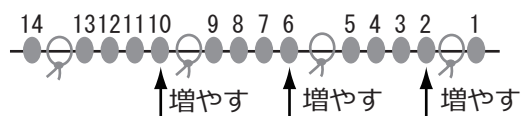
肌側

段数リングを4個、または、5cm程度の毛糸を輪にして結んだものを4つ作ります。

1段目 作り目をしながら、1目、5目、9目、13目の後にリングか輪にした毛糸を入れ、14目作ります。



2段目 裏返して、裏メリヤスで、目印の後ろを1目増し、これを3回、行います。(最後は増やさない)



3段目 裏返して、メリヤスで、目印の直後と直前を1目増し、これを3回、行います。

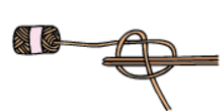


※最初と最後の目は何もせず、裏メリヤスは、目印の直後、表メリヤスは、目印の直後と直前に増やします。これを交互に繰り返します。

※あみこもびより「棒針 基礎の編み方」に動画で詳しい説明があります。

作り目

※イラストは2本ですが、ちあばい♪は棒針1本で作ります。



糸端から、編む幅の3倍の長さのところで輪を作る。



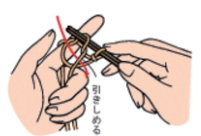
1本の針を通し、糸端を引き、輪をしめる。



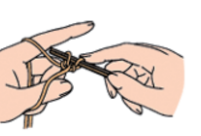
1目が出来たところで、短い糸を親指に、糸玉の方を人差し指にかけます。



針先を矢印の順に動かして針に糸をかける。



矢印のように親指に入れて、目を引きしめる。



2目めの出来上がり。



毛糸の中に厚紙が入っている場合は厚紙は取り出してください。編む時は毛糸玉の中心から糸端を取り出して使うと、編んでいる時に毛糸玉が転がりません。

メリヤス



糸を向こうにおき、端の目に針を入れて糸をかける。



そのまま糸を引き出し、左針から目をはずす。

裏メリヤス



糸を手前に置き、右針を矢印のように向こう側から入れる。



図のように右針に糸をかけ、矢印のように向こう側に引き出します。

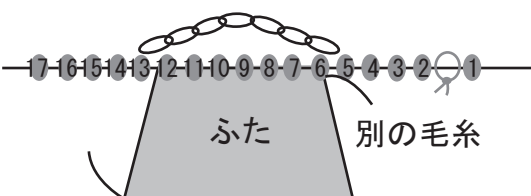


右針でループを引き出し、左針を引き、目をはずします。

逆に編む

目の数は、目印と目印の間を数えます。ほどよい大きさになったら、表を裏メリヤス、裏をメリヤスで1段ずつ編みます。(2段)

スリットが欲しい方は、最初の目印後、6目〜12目を使って、別の糸でふたを編みます。ふたは台形になるように両端を増やし、編み方はガーター編み(表も裏もメリヤス)。ふたができたらはぎます。最初の毛糸に戻り、7目分を巻き増し目で作ります。※針が足りない、難しいという方は7目をとじるかなわ編み針などで休ませ、次の段で巻き増し目して、できあがってからふたを作ってください。



右増し目



増し目をする手前まで編み、次の目の下の段の目に右針を入れます。

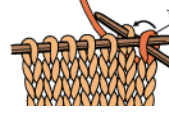


糸をかけ、1目メリヤス編みをします。

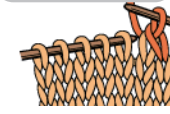


これで1目増したことになります。

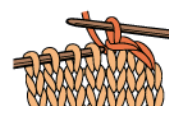
とじかた



編み始めの目、1目をすべり目して次の目を編みます。



左手の人さし指にかけてる糸を図のようにかけかえます。



次からは1目編むたびに、かぶせていきます。

巻き増し目



左手の人さし指にかけてる糸 2の矢印の方向に右針で図のようにかけかえます。すくうと糸がねじれます。



山側

両端の1目ずつはなにもせず、表編みは目印直前、裏編みは目印直後に減らし目をします。※裏編みはひっくり返して編むので、表編みと同じ位置で減らし目になります。

減らし目



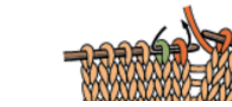
2目一度する位置まで編みます。



矢印のように針を入れて目をすべらせて次の目を編みます。



すべり目を次の編んだ目にかぶせます。



2目一度する位置まで編みます。

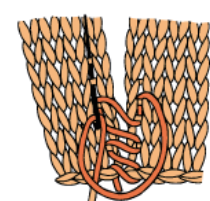


矢印のように右針を左針の2目に入れて糸をかけて、2目一度に編みます。



これで2目が1目になります。

すくいとじ



編み地の表面を突き合わせにし端から1目はいったところで、左右とも図のように横糸を1段ずつすくっていきます。端1目が見えなくなる程度に軽くひっぱってください。端1目は見えなくなります。

とじる

最後が14目になったら、全体の2倍程度の長さで毛糸を切り、目印をとりながら、とじ針ですくって絞ります。両端の1目ずつを使って、すくいとじでとじていきます。最後の14目は縫うようにとじます。毛糸を引っ張りすぎると綿を詰めた時に編地がひきつるので注意してください。

イラストと説明は「あみこもびより」後正産業株式会社さんに転載許可いただきました。http://www.gosyo-shop.jp/ ちあばい♪は、アメリカのKnitted Knockers(http://www.knittedknockers.org/)で紹介されている編み方を翻訳し、日本式にまとめています。